

活動指導案

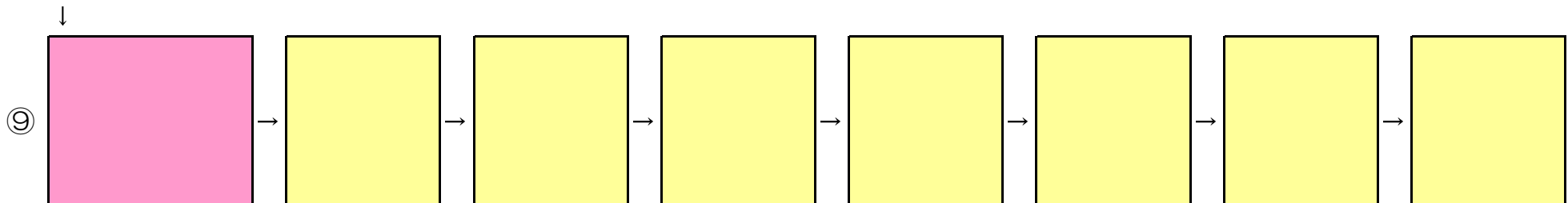
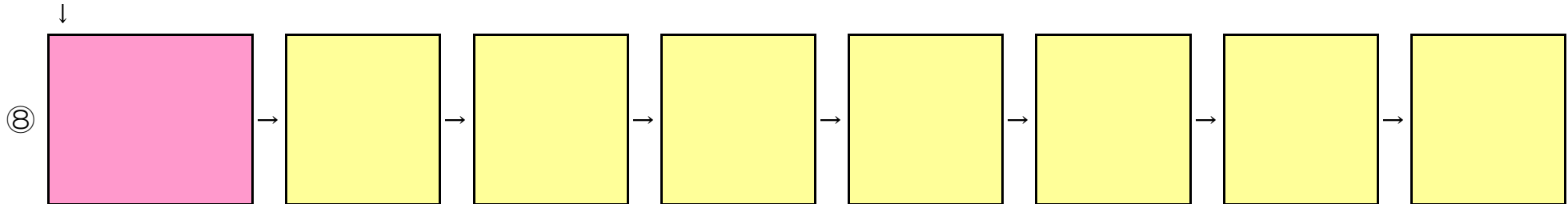
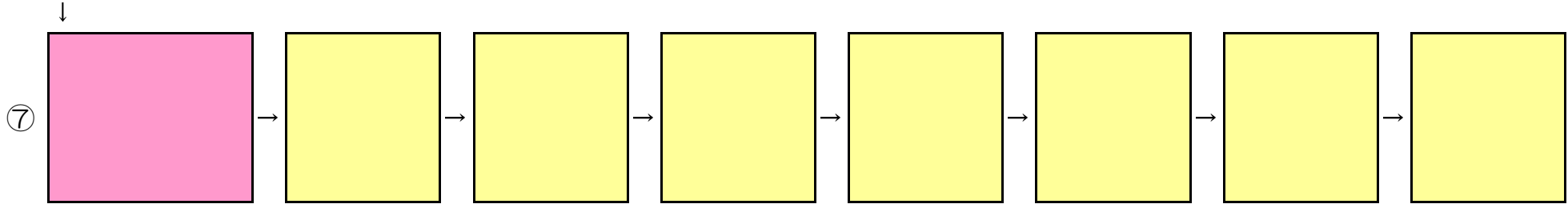
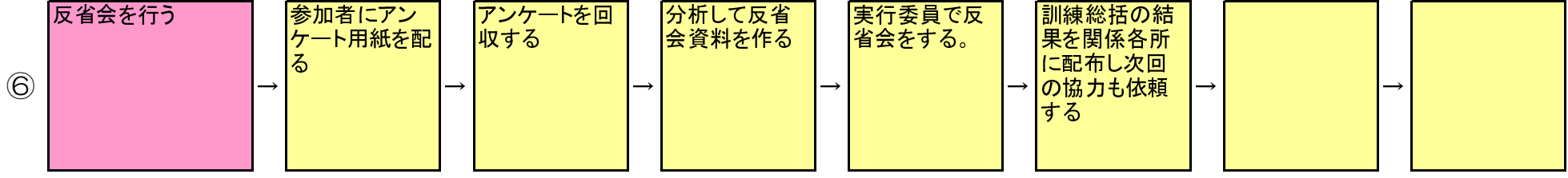
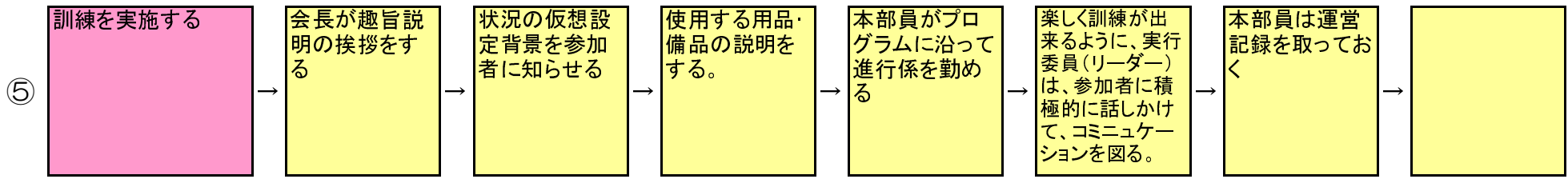
実践団体名 西大和6自治会連絡会（桜ヶ丘2丁目自治会）

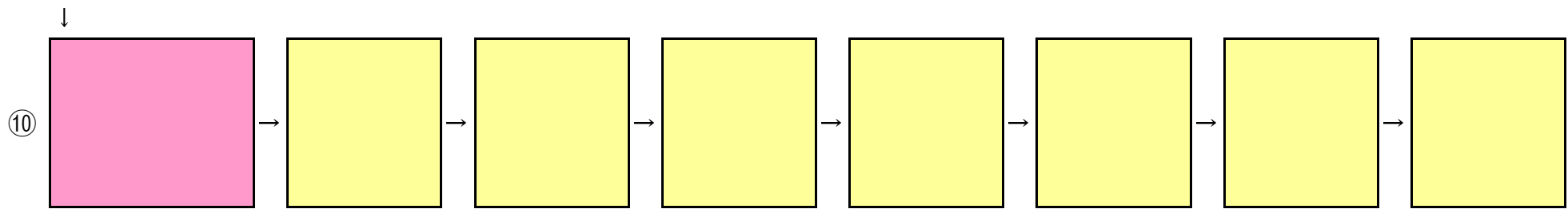
■基礎データ

① タイトル	災害時要援護者避難訓練
② 活動の概要	災害時要援護者の安否確認と救出もしくは一時避難所までの避難誘導訓練を実施する
③ 目標・ねらい	災害時要援護者の安全確保をもれなくおこなうために、災害時要援護者安否確認台帳を使用しての安否確認訓練、さらに災害時に通信が遮断された場合の無線機使用訓練を同時に行う。
④ 活動で上げることが できる力・能力	①災害時要援護者の避難誘導方法および救出・搬送方法の習得③災害時のスムーズな情報伝達方法の習得④住民への防災意識の啓発⑤住民のキズナの強化
⑤ 対象者（受ける側）	災害時支援者と災害時要援護者
⑥ 活動・作業形態	公民館を対策本部基地とし、役割別グループ単位で地区内にて訓練を展開。
⑦ 準備するもの （道具、材料等）	無線機（親機1・子機数台）・車椅子・担架・リヤカー・三角巾・毛布・シュラフ・救急箱etc
⑧ 所要時間	90分
⑨ 必要なマンパワー （実施者、役割、人数）	1グループ（災害時要援護者役1名 安否確認班2枚 救助班4～6名）×3程度 避難所設営班6～10名 本部員6～10名 合計40名程度
⑩ 必要経費 （所要額、財源）	無線機1台6万円 車椅子1台 1.5万円 リヤカー1台2万円 その他 合計25万円～

■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

①参加人数 ②時間消化具合(手間取らなかったかどうか)

②その他の評価

①参加者アンケート調査結果 ②見学者や来賓の反応

■備考・その他(活動のコツなど)

①活動のコツなど

①楽しく行う ②実行委員は参加者にどんどん話しかける ③事前説明会を開く

②参考資料等

①他団体の事例発表 ②県のホームページ

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

実践団体名

西大和6自治会連絡会(桜ヶ丘2丁目自治会)

■基礎データ

① タイトル

災害時支援者(助ける人)の募集と名簿作成・管理

② 活動の概要

①回覧・個別訪問等で趣旨説明をする。②アンケート用紙(申し込み用紙)を配布して、公募し名簿を作成する。

③ 目標・ねらい

大規模災害時に安否確認活動・救助活動・一時避難所運営等の活動支援をする人員を確保する。

④ 活動で上げることが
できる力・能力

①共助意識の向上②地域住民のキズナ③自治会活動への協力意識の向上④個人の防災意識のスキルアップ

⑤ 対象者(受ける側)

元気な方は、年齢性別問わず。資格者(医師・看護師・建築士・重機オペレーター等)その他(料理・パソコン・力仕事等なんでもOK)

⑥ 活動・作業形態

①個別訪問②アンケート用紙(申し込み用紙)配布③回収・名簿作成④名簿管理(個人情報)

⑦ 準備するもの
(道具、材料等)

アンケート用紙(申し込み用紙)350件分・事務用品・

⑧ 所要時間

延べ3ヶ月 40H

⑨ 必要なマンパワー
(実施者、役割、人数)

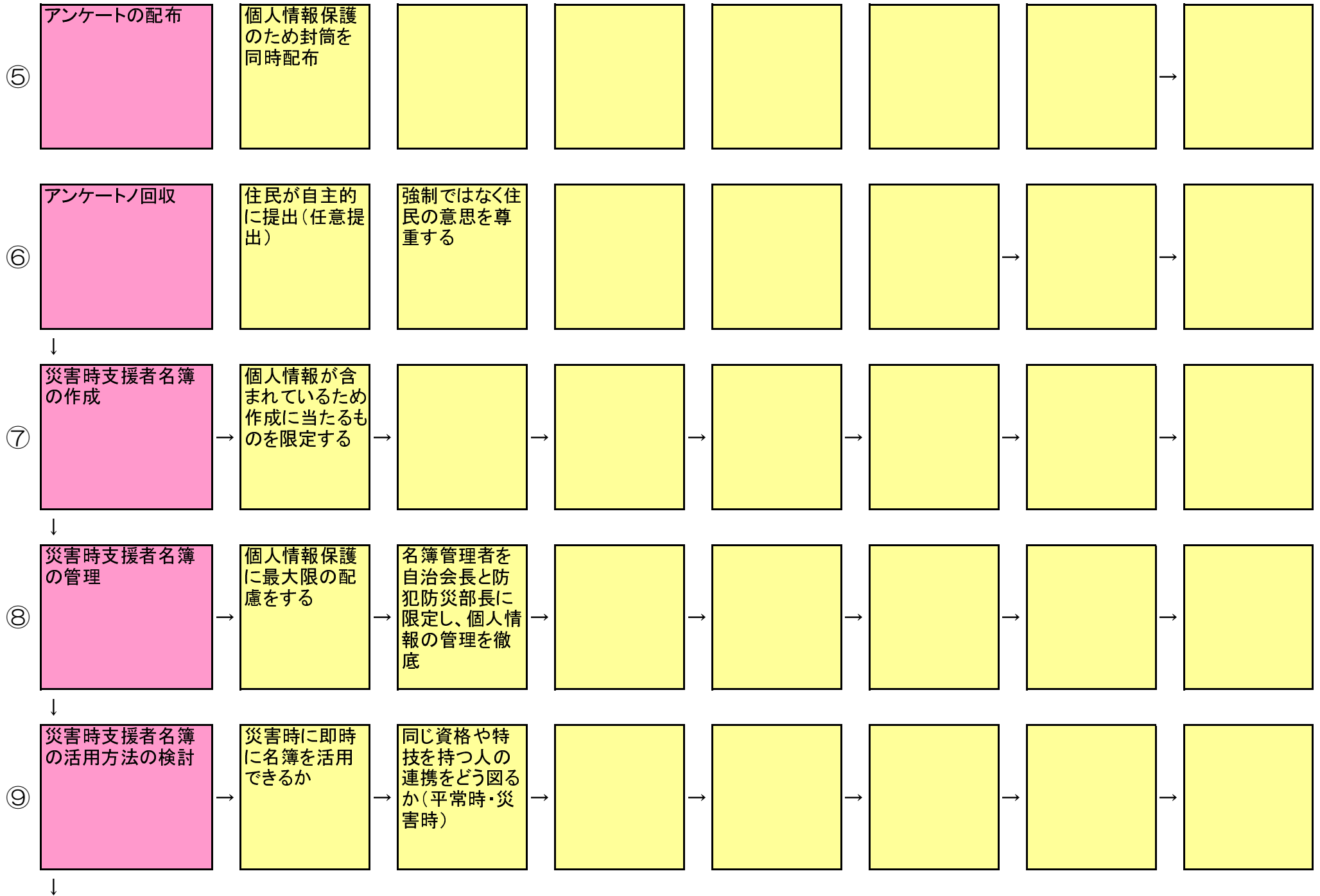
会長・副会長・ブロック委員 約40名

⑩ 必要経費
(所要額、財源)

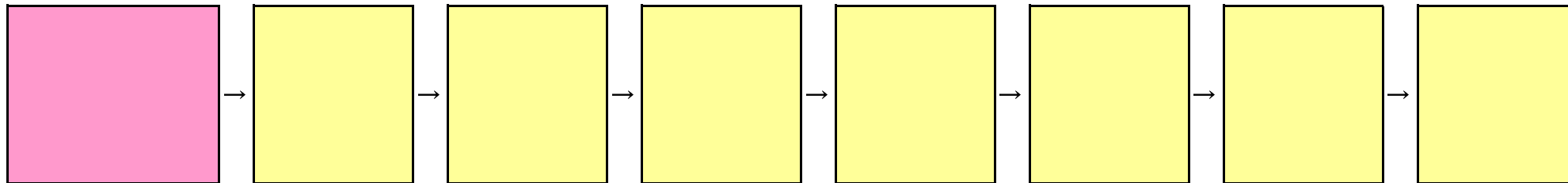
プリンターインク 12,000円・用紙 400円・封筒 1980円・他 計 20,000円

■活動の流れ





⑩



■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

集まった人数

②その他の評価

災害時支援者登録者が、避難訓練等にどれだけ積極的に参加してくれるか

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

①平常時は特に何もなくてよいこと、災害時の活動義務を強制するものではないことを強調して間口を広げる②案内・アンケート等の書面で共助の趣旨をする。
③書面だけでなく、戸別訪問をする

②参考資料等

①他団体の事例発表 ②県のホームページ

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

実践団体名 西大和6自治会連絡会(桜ヶ丘2丁目自治会)

■基礎データ

① タイトル

災害時要援護者(助けられる人)の安否確認名簿の作成と管理

② 活動の概要

①回覧・個別訪問し、趣旨説明をする。②アンケート用紙(申し込み用紙)を手渡し、後日回収し作成

③ 目標・ねらい

災害時対象者の安否確認と援護のための情報把握

④ 活動で上げることが
できる力・能力

①活動者の対象者に対する気配り意識②防災意識のスキルUP

⑤ 対象者(受ける側)

お年寄りで、身体不自由な方、障害者、乳幼児

⑥ 活動・作業形態

①個別訪問②アンケート用紙(申込書)の配布③回収後、名簿作成④名簿管理(個人情報)

⑦ 準備するもの
(道具、材料等)

アンケート用紙(記入例 500部 申し込み用紙500部)、事務用品

⑧ 所要時間

調査時間 延べ40h(400戸) 作成時間 10分×70名=700分(約12h)

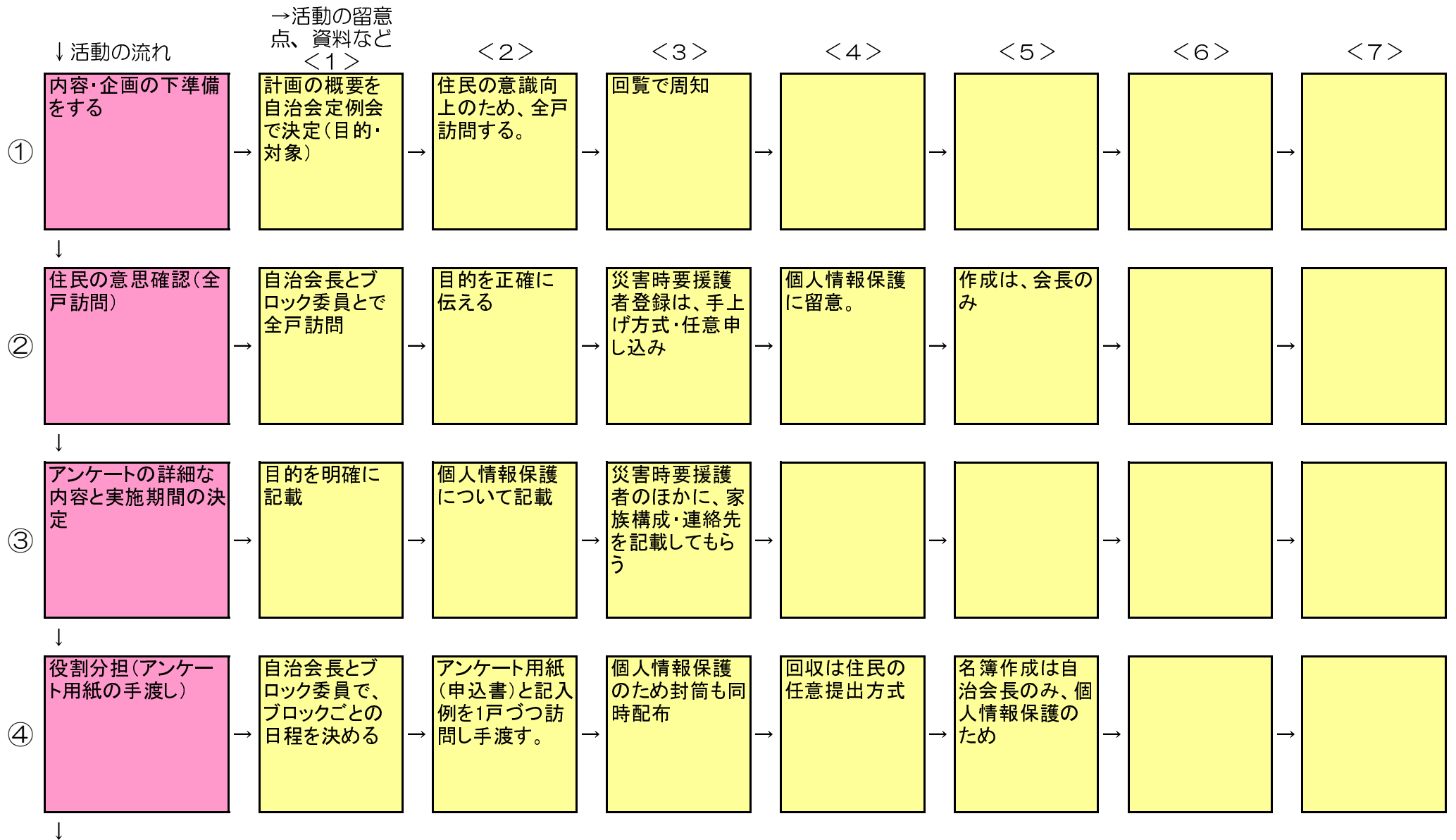
⑨ 必要なマンパワー
(実施者、役割、人数)

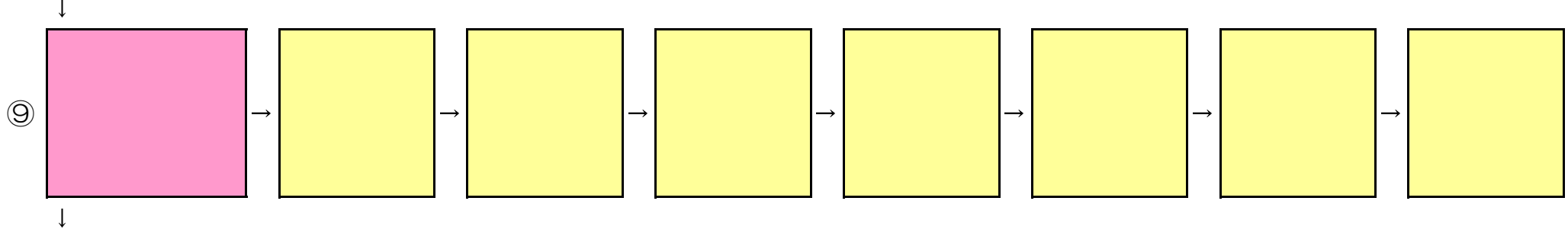
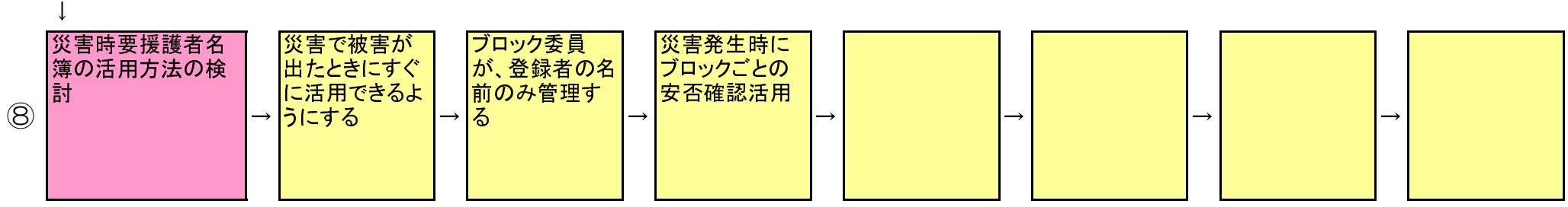
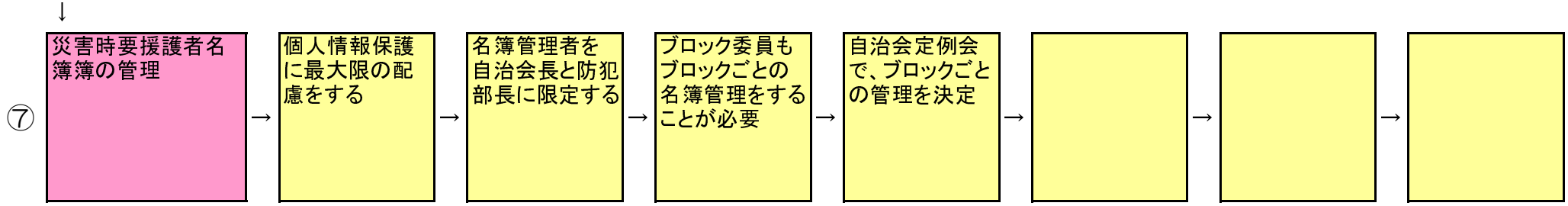
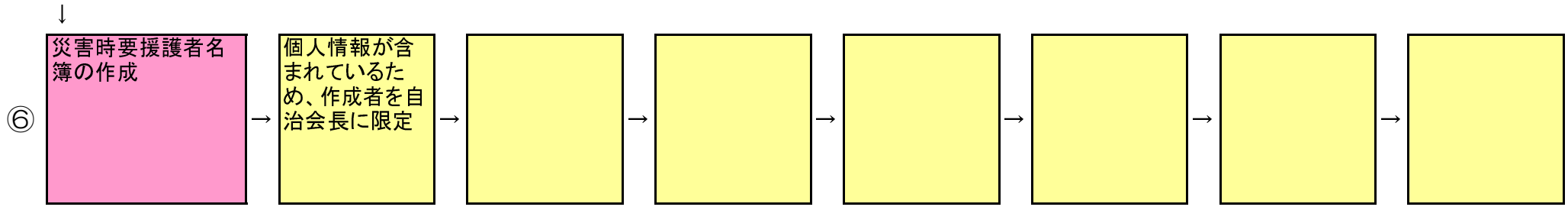
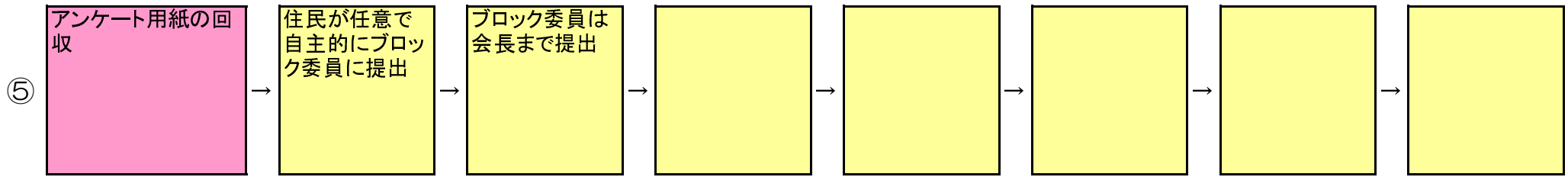
自治会会長 調査・作成 その他役員 調査補助 合計 36名

⑩ 必要経費
(所要額、財源)

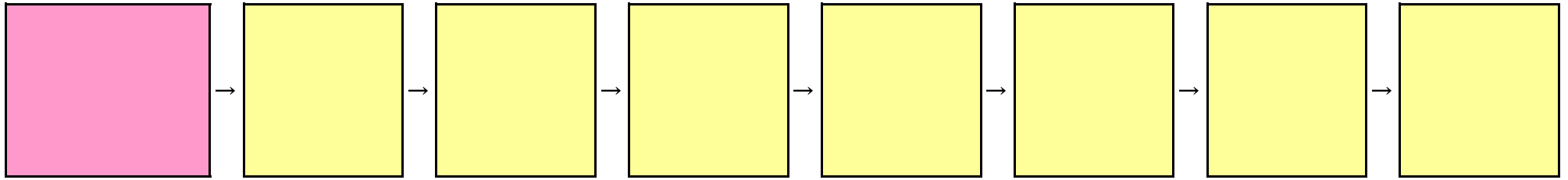
用紙印刷 0.8万円 封筒 0.5万円 プリンターインク 1.6万円 案内状作成用紙 0.2万円 合計3.1万円

■活動の流れ





⑩



■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

登録者の数 現在86名

②その他の評価

住民の反応 注目度。 この戸別訪問の活動中に災害時支援者(助ける人)が、期せずして集まったことは、大きな成果である。

■備考・その他(活動のコツなど)

①活動のコツなど

協力者(ブロック委員・登録者)に趣旨説明をていねいにする。個人情報保護には最大限の配慮していることを伝える

②参考資料等

泉大津市災害時要援護者安否確認名簿

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

実践団体名

西大和6自治会連絡会（桜ヶ丘2丁目自治会）

■基礎データ

① タイトル

子どもサバイバルキャンプの防災訓練・防災ゲームを実施する

② 活動の概要

子ども(小学生)を対象に、町指定の避難所で、オーバーナイトの疑似避難所体験をし、楽しく遊びながら、防災の基礎知識を習得する。同時に大人は炊出しなどをとおして避難所の運営訓練をする。

③ 目標・ねらい

①子どもに防災の基礎知識を習得させる ②子どもに上下関係の友人の付き合い方をグループ内の1人として体験させる ③自治会活動(ボランティア活動)を意識させないで自然に体得させる ④大人は防災資機材として何が必要か検証する、かつご近所のコミュニケーションを図る

④ 活動で上げることが
できる力・能力

①子どもには、防災カルタ、スゴロク、本読み、工作等を通じて防災について、自分で考える力 ②大人が使う救出用資機材、リヤカー、ジャッキ、バール、担架、1輪車等実際に使用して、自信を持つことにより、使用できる能力 ④大人は炊き出しのレシピややり方のノウハウを会得し、実践できる能力

⑤ 対象者（受ける側）

子ども(小学生が対象、兄弟で来る場合、中学生は問わない)

⑥ 活動・作業形態

公民館内で室内遊び等(防災ビデオ・防災ゲーム)による防災知識の習得、グラウンドで救出訓練(初期消火機材・救出用機材の使用方法的習得)と一時避難所設営訓練(テントサイトの設営・野外炊飯)

⑦ 準備するもの
(道具、材料等)

[室内] ビデオデッキ・プロジェクター・机・イス・パソコン・防災カルタ・その他防災ゲーム用品 [野外] キャンピング道具一式(テント、タープ、テーブル、イス、シュラフ、ペグ、ロープ、ハンマーなど)・イベントテント・炊飯機材(ナベ、カマド)・食料(米、みそ、肉、野菜)・初期消火機材(消火器、バケツ)・救出用機材(リヤカー、担架、一輪車、バール、チェーンソー、発電機、投光機など)

⑧ 所要時間

企画会議2h×5 本番1泊2日

⑨ 必要なマンパワー
(実施者、役割、人数)

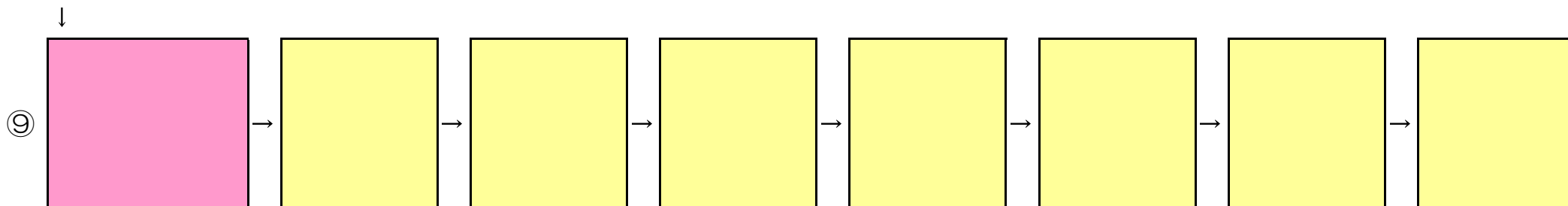
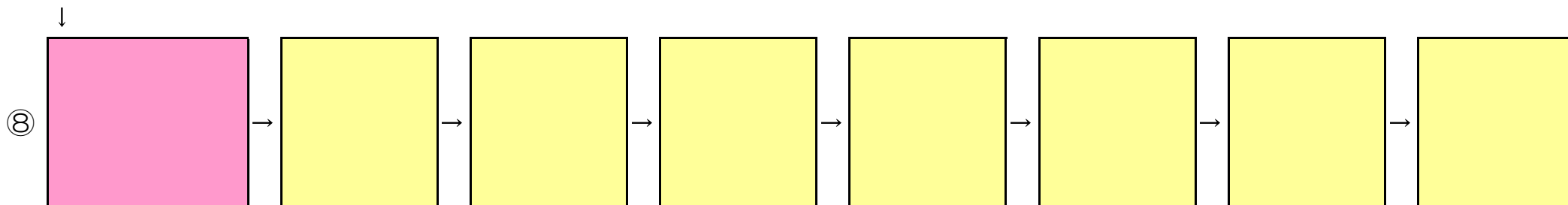
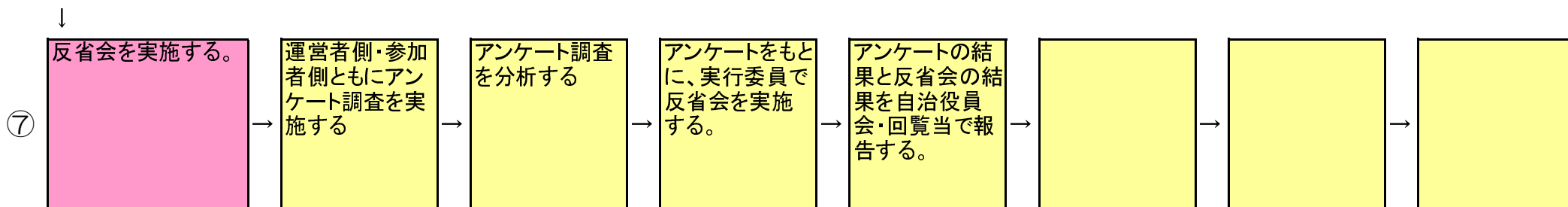
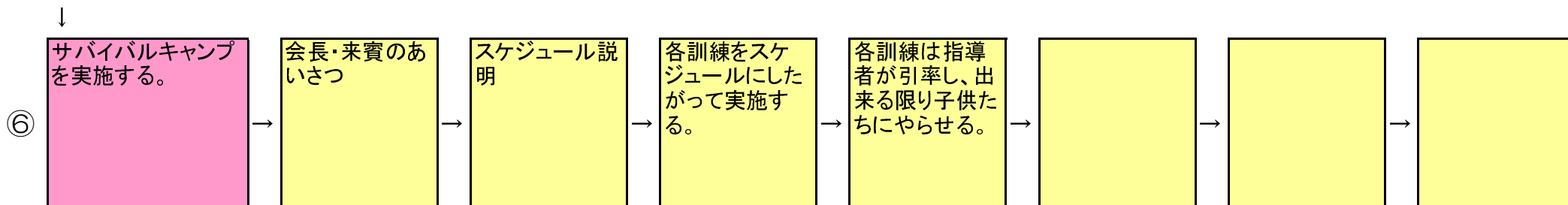
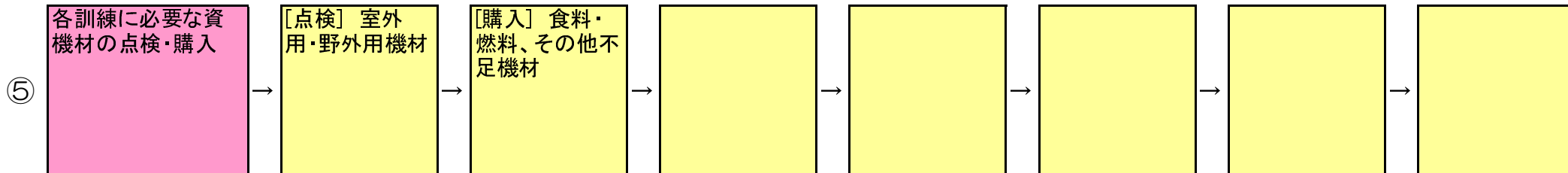
運営側 30人(施設準備15人、訓練指導5人、炊飯10人) 参加者70人

⑩ 必要経費
(所要額、財源)

8.5万円(食料・燃料代のみ)

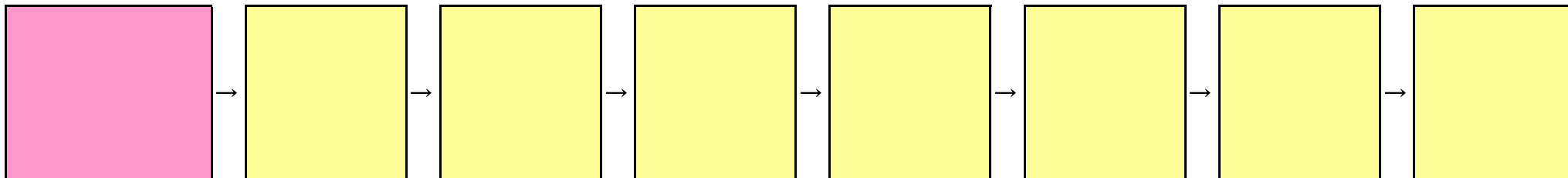
■活動の流れ





↓

⑩



■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

子どもの参加者数・来賓の数・見学者の数

②その他の評価

参加者アンケート調査結果・みんなの笑顔

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

楽しく遊ぶ。主催者自身が楽しむ。関係各所に協力を要請する。事前準備を充分にする。有識者の助言を得る。

②参考資料等

・(元)県防災統括室の楠田氏訪問時の事例紹介でスタートした
・防災統括室の資料
・内閣府等の資料
・イザ！カエルキャラバン！（子どもを中心とする若いファミリー層を対象にした防災訓練システム）
<http://kaerulab.exblog.jp/i8/>

※ 活動指導案作成のための準備物：①写真（活動の代表的な写真、流れがわかる写真等）、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

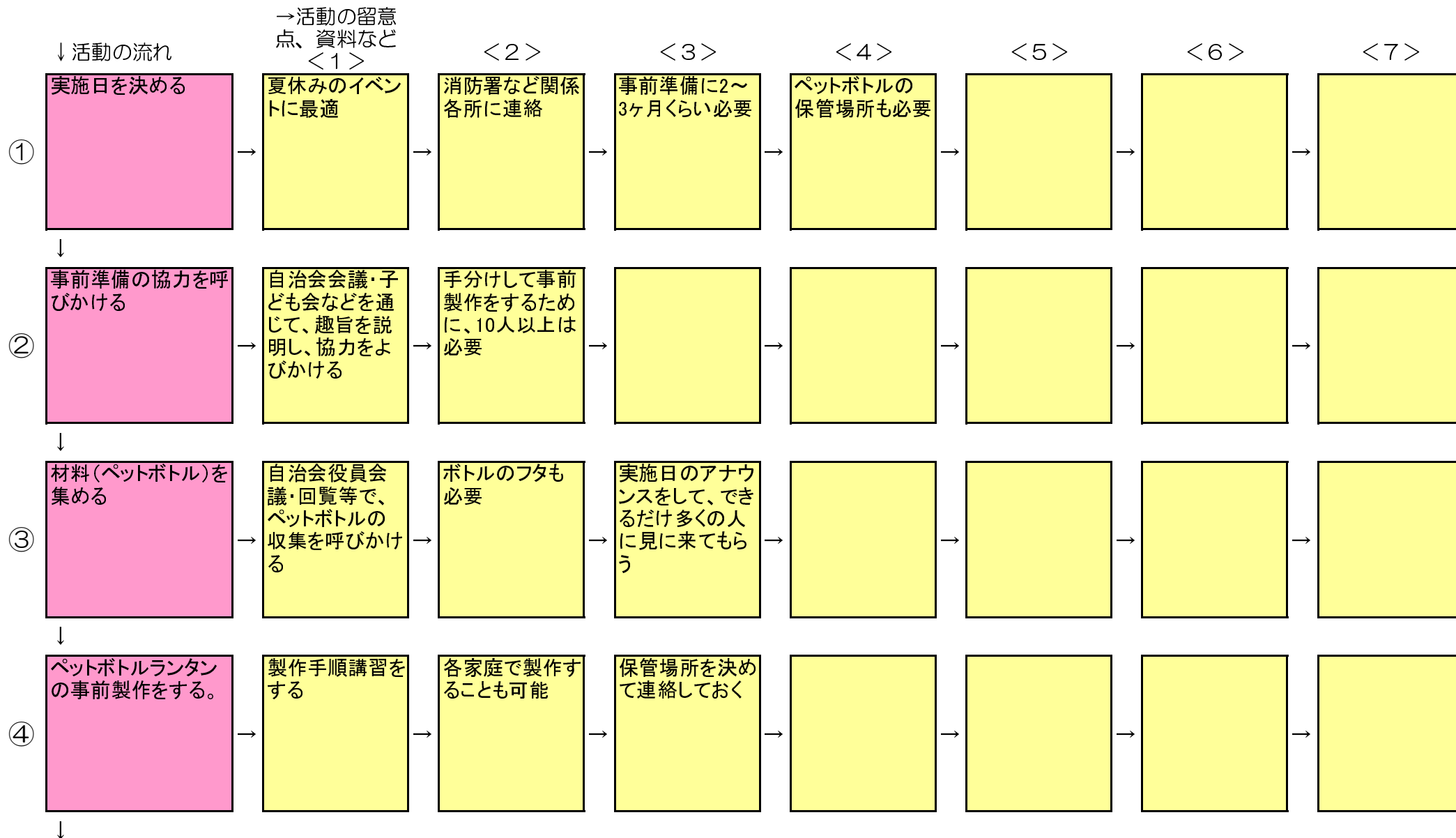
活動指導案

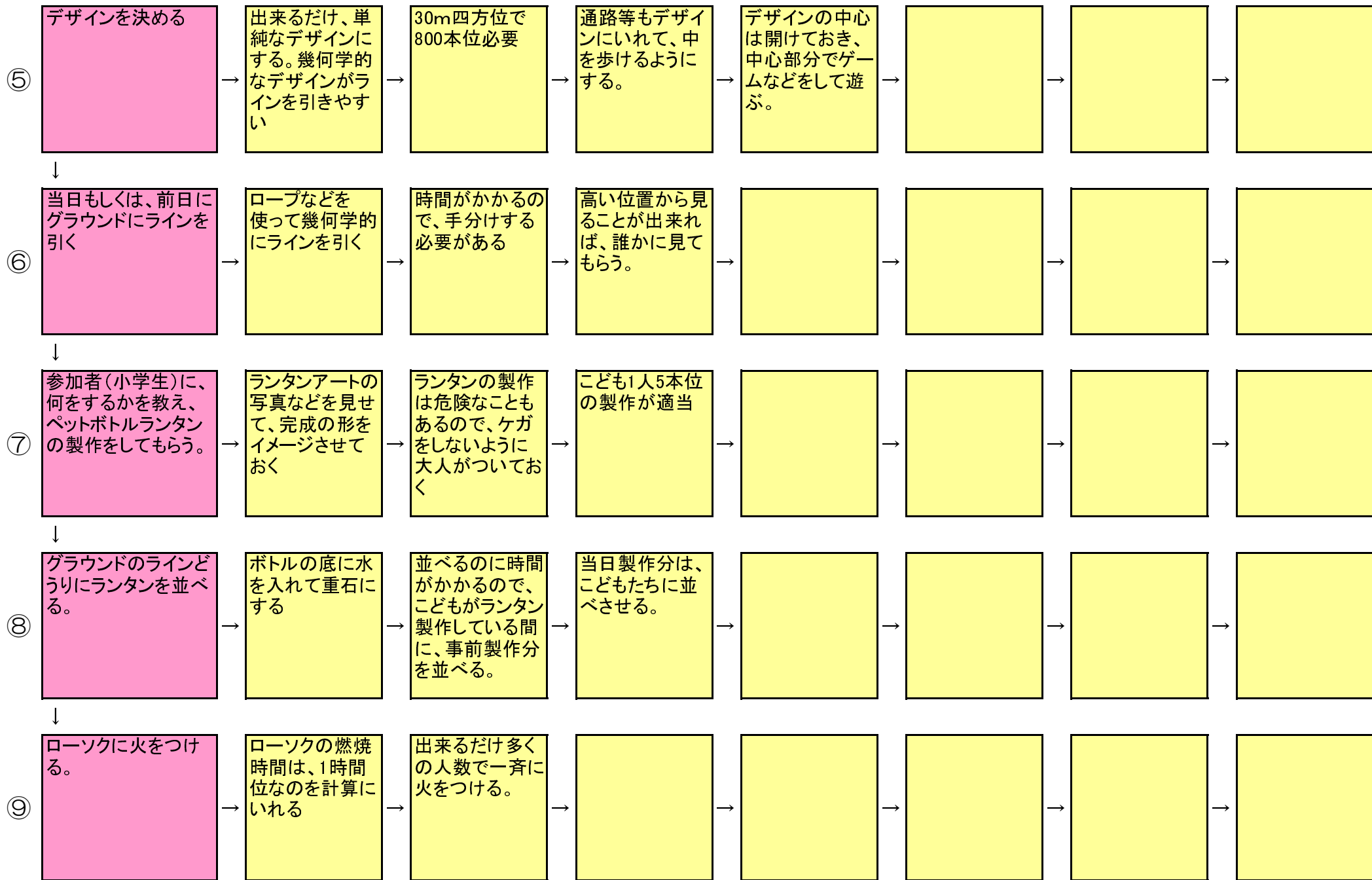
実践団体名 西大和6自治会連絡会（桜ヶ丘2丁目自治会）

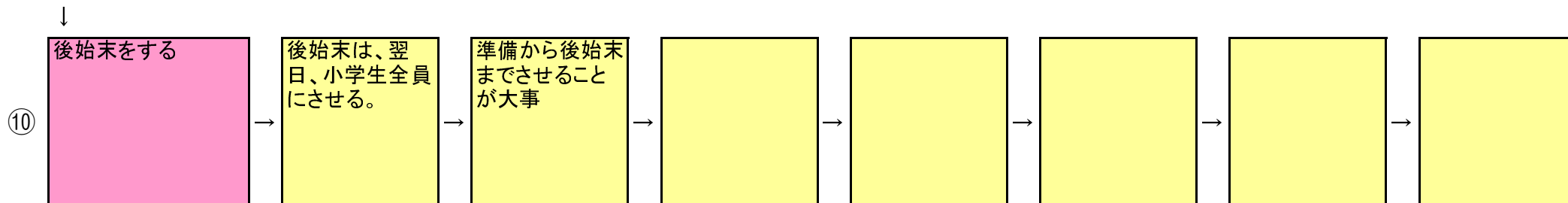
■基礎データ

- | | |
|---------------------------|--|
| ① タイトル | 子どもサバイバルキャンプのランタンアート(サクランタン)を実施する |
| ② 活動の概要 | 子供たち(小学生)を対象に、町指定の避難場所において、模擬避難所生活を体験ののちキャンプファイアーの代わりにペットボトルでキャンドルランタンを作り文字や絵などを描き、地域住民にも観覧してもらい、そこでゲームなどをして楽しむ。 |
| ③ 目標・ねらい | 遊びと同時に地域住民への防災意識向上のキャンペーン活動をする。 |
| ④ 活動で上げることが
できる力・能力 | 子供たちの創造力・協調性の向上、地域住民の強調意識(キズナ)の向上、 |
| ⑤ 対象者(受ける側) | 小学生とその父兄中心、中学生も可 |
| ⑥ 活動・作業形態 | 防災教育のサバイバルキャンプのメニュー、グラウンドでキャンプファイアーの代わり |
| ⑦ 準備するもの
(道具、材料等) | ペットボトル800本(事前準備600本、当日200本製作)、ローソク1000本、釘1000本、ハサミ20個(大きなもの)、石灰(ライン引き)、チャッカマン(ライター)20本 |
| ⑧ 所要時間 | 事前準備80h、当日2h×60人(小学生に教えながら製作) |
| ⑨ 必要なマンパワー
(実施者、役割、人数) | 事前準備20人、当日80人(小学生60人) |
| ⑩ 必要経費
(所要額、財源) | 1.5万円 |

■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

協力者・見学者の数

②その他の評価

子供たちの笑顔、協力者・見学者の笑顔

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

協力者の人数集めが大事。たくさんの人に見てもらえるようにアナウンスをする。「キレイ！」の一言がうれしい。苦労した分楽しい。

②参考資料等

ペットボトルランタンで検索するとたくさん出てきます。 例)ランタンで田んぼを彩るワークショップin塚須沢
<http://www.pref.akita.lg.jp/icity/browser?ActionCode=content&ContentID=1150087229888&SiteID=0>

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等